

知らねば損する！ パソコンの「文字エンコーディング」機能 文字化け現象の解決策 「文字エンコーディング」のリセットの仕方

皆さんは「エンコード(Encode)」という言葉をご存じでしょうか？ 案外と知られていないシロモノです。パソコンを日本国内で購入した時点で全てがセットされていて、ユーザーには無用の存在といった面が否定できません。

このパソコン用語をグーグルで検索すると、極めて広い分野で大量に出てきます。大変に複雑なもので、ひと口には説明し難いものがあります。ド素人の分際で僭越ですが、簡単に言えば、「文字の符号化」ということだと思います。インターネット機能と文字を結ぶ暗号みたいなもの。それが合わないと「文字化け現象」が起きるといえるのです。

案外と認識されていないパソコン用語ですが、日本にいて、海外のインターネットを観たり交流機会の少ない方々にとっては無縁のことかもしれません。インターネットの日本新聞各紙をみますと、そのエンコードは数種類が使われています。それらを開いて異常なく日本語が表示される場合は、その方のパソコンが正常に「自動選択(日本語)」されているのですが、同じエンコードでも複数に適用される場合があることから、あまり表面化していない感じです。ちなみに、日本人が通常使う「日本語(Shift_JIS)」は日英語共用です。ただしそれは、日本人側からの論理に過ぎません。逆の英語圏からでは日本語共有機能はありません。

かくいう私の場合は、英語と日本語のウェブサイトを編集していますが、日本語版を前面に出すと、此処フィリピンは勿論、海外の外人ヴィジターには「文字化け」が生じて、まるっきり用を成さないことになります。一見、日英語共用の「自動選択(日本語)」ですが、編集側が「Unicode(UTF-8)」を使用している場合は事態が異なるということを知りました。

そこで、導入したのが「英語版」をもって私のウェブサイトの URL とするということ。さぜるを得ない、ということでした。在日中は日本の皆さんが通常使われている「日本語(Shift_JIS)」を使っていたものですが、英語圏のフィリピンに来てからは専門家の指導を得て「Unicode(UTF-8)」に変更しました。「日本語(Shift_JIS)」が同社の編集ソフト(File Manager)に馴染まない一面もあるからでした。

ちなみに、その「Unicode(UTF-8)」は日本のインターネット各紙の中で、日本経済新聞、毎日新聞、産経新聞などが使用しています。地元フィリピンのマニラ・タイムズやマニラ・ブレティンはいずれもそれを使っています。

ところが、最近に至り、日本の読者(ヴィジター)の中に、「英語は正常に表示されるが日本語版が文字化けする」という声がチラホラあることから、その原因を専門家などに訊ねての結果ですが、フィリピンでも日本でも的確に答える人は皆無でした。

やむなく、ド素人の私ですが、在日中の「日本語(Shift_JIS)」から「Unicode(UTF-8)」に変更したことが原因の根源だと認識し、それへの対策や日本の皆さんへの協力お願いを兼ねて、独自に原因解消にチャレンジしました。その結果を下記にお知らせし、ご協力をお願いする次第です。

さて、正直な話、文字化けを防止する一番簡単な手法は、「自動選択(日本語)」にチェックを入れていただくことなのですが、この際、一番確実な手法として、「Unicode(UTF-8)」も併せてセットすることをお勧めする次第です。しかし、その手法が意外や、かなりの専門家と思われるパソコン技能者にも知られていなのです。ちなみに、此処フィリピンでパソコンを大学で専攻して、しかも、パソコン関連ショップを営んでいる人物や、若いフィリピン人サラリーマンでも知らない何人もの人たちに接しました。日本人で相当のパソコン技術能力者と思われ(てきた)人ですら、ご存じないのが実態と知りました。

具体的な「文字エンコーディング」のセッティング法

箇条書き的にそのノウハウを、以下にお知らせします。

1. 一番大事でカギになる「ツール列表示」

まずは、ご自身のパソコンの最上部左側に表示されるハズの一連のツールを確認してください。「ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)」がそれです。英語のパソコンはそれらが「Edit, View, History, Bookmarks, Tools, Help」と表示されます。

ところがです、殆どの方が、そんなものは見当たらないですが・・・と。無理ありません、殆どの場合、というよりも購入した段階では出てこないシロモノです。つまり、「隠れたパソコン機能ツール」というところ。それが表示された場合の具体的な当該文字エンコードや「自動選択(日本語)」なるターゲットをキャッチすることが本稿の目的ですが、その前に、それが表示されないパソコンユーザーの方々には、その一連のツールをくだんの場所(上部左端)に持ってくる手法をお伝えすることが肝要ですので、その後のことにします。

2. 一連の当該ツール連を表示さす手法

画面最上段は使用しているブラウザ名・マークが表示されます。その次の段が肝心の場所ですが、ツール連が表示されていない場合は、その辺りの空間を右クリックしてください。すると、各種のアイテムが出てきます。パソコンによって若干の差異はあると思いますが、例えば「メニューバー、ナビゲーションバー、ブックマークツールバー」などですが、「ツールバー」の名があるものにはすべてチェックを入れてください。すると、あつと言う瞬間に、左側上部に念願である一連のツールバーが表示されます。再現しますと、「ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)」がそれです。この表示はワードによる文章作りの際には必ず出てくるツール連ですが、どうしたことか、インターネット画面ではセットしない限り表示されません。このことが問題であった訳です。

3. ツール連が表示されたら下記の順に従ってください

左から3番目の「表示(V)」を左クリックすると、「ツールバー、サイドバーなどが表示され、最後に念願の「文字エンコーディング(C)」がありますので、それにカーソルを当てますと、その左側に一連のエンコードが表示されます。まずは、その中の「自動判別(A)」にカーソルを当ててください。するとずら～と一連の言語が表示されます。その中の「日本語」にチェックを入れてください。

じつは、これだけでOKのハズですが、確実にするために、もう一度、「文字エンコーディング(C)」に戻ってカーソルを当てると、ずらっと色々なエンコードが出てきますので、其処でくだんの「Unicode(UTF-8)」を左クリックしてください。これで万事終了です！途端に文字化けした画面が正常に表示されることを確認されるハズです。念願の「ツール一式表示」が左端最上段にずら～と出てきます。これにて、一件、落着です。

2012年1月10日

吉田祐起

(原爆証言者/健康生きがづくりアドバイザー(フィリピン共和国ラグーナ州サンタローサ市在住))

Email; yoshida.yuuki@a-bombsurvivor.com

英語版トップ; <http://www.a-bombsurvivor.com/index.html>

日本語版トップ; http://www.a-bombsurvivor.com/index_japanese.html

(Copyright Yuuki Yoshida, All Rights Reserved)